



2023年6月30日

株式会社尾道開発に対する
「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、株式会社尾道開発(本社:広島県尾道市、代表取締役 水野 博信)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

契約締結日	2023年6月30日
融資金額	3億円
融資期間	7年
SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	燃え殻・ばいじんのリサイクル量増加
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性および SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(詳細:別紙2)を取得しております。

2. 企業概要

会社名	株式会社尾道開発
所在地	広島県尾道市長者原一丁目 220 番 37 号
会長	水野 博信
業種	産業廃棄物処理業
事業内容等	産業廃棄物中間処理(焼却、選別、切断、圧縮、破碎)

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDG 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 広島銀行
営業企画部 法人企画室
TEL (082)247-5151 (代表)

「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の 2 商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施 ・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年 1 回のレポートイングが必要
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象 ・ 年 1 回のレポートイングが必要

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取り組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと ・ 外部レビュー※、年 1 回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施 <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと ・ 年 1 回のレポートイングを実施
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30 百万円以上	
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）	1 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	

株式会社尾道開発 〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2023年6月30日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行（以下、「貸付人」という）と株式会社尾道開発（以下、「借入人」という）の間のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）について、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. 借入人とサステナビリティ

（1）会社概要

借入人は、広島県尾道市に本社を置き、廃棄物の収集・運搬および焼却処理事業、クリーニング・サービス事業（特殊メンテナンス）を行う、1983年創業の会社である。

廃棄物処理では、有害物質であるダイオキシン等の発生を大幅に低減させる焼却炉を設置し、焼却後の廃棄物を冷却固化した溶融化スラグを庭砂等にリサイクルするなど、環境に配慮した処理を行っている。

また、業界でもトップレベルの最新設備による分析・データ処理システムを導入しており、より安全な廃棄物処理に向けた研究が日々行われている。



（会社HPより抜粋）



（2）サステナビリティ

借入人は、自社業務を「社会になくしてはならない仕事、それが私たちの仕事です。」と掲げ、自社に課せられた使命が地球環境保全であると認識している。主業である廃棄物処理等のほか、近年では廃棄物のリサイクルにも取り組み始めており、サステナビリティの精神は、借入人にとっての使命であると言える。

2. KPIの選定

(1) KPIの概要

借入人はKPIとして、「燃え殻※1・ばいじん※2のリサイクル量」を選定した。

廃棄物焼却処理の過程で排出される燃え殻・ばいじんの処理方法は、最終処分場での埋め立て処理か再資源化である。借入人は、自社で排出された燃え殻・ばいじんが、再生資源として活用されることなく廃棄されていた状況を踏まえ、約5年前から再生利用に向けた社外販売に取り組んでおり、このたび持続的な目標を設定したものである。

※1 燃え殻…石炭がら、焼却炉の残灰、炉清掃排出物、その他焼却残渣

※2 ばいじん… 大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設、ダイオキシン類対策特別措置法に定める特定施設、産業廃棄物焼却施設において発生するばいじんのうち、集じん施設によって集められたもの



(燃え殻)



(ばいじん)

燃え殻・ばいじんは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で規定された20種類の廃棄物の一部。廃棄物には、一般廃棄物と産業廃棄物があり、本KPIが対象としている燃え殻・ばいじんは産業廃棄物に分類される。

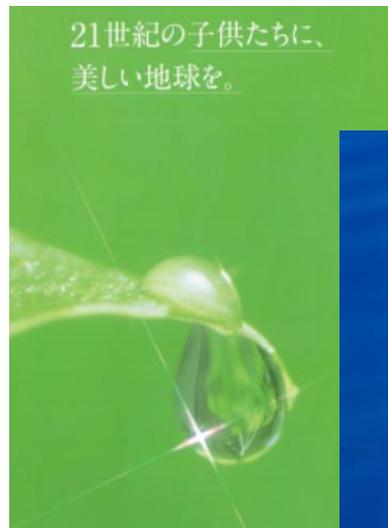
(2) KPIの重要性

KPIは、これまで再資源化されていなかった廃棄物について、社外販売を活用したりサイクルに取り組むものである。地球環境保全を掲げ、循環型社会システム構築の一助となるよう取り組んできた借入人のサステナビリティ経営に極めて重要な意味を持つ。

(3) 経営方針とKPIの関係

借入人は、自社の事業目的について、「環境保全を目的とするエコロジカルカンパニー」としており、会社パンフレットにおいても、「21世紀の子供たちに、美しい地球を。」というメッセージを掲げている。

本KPIに係る取組は、廃棄物から再生利用可能な資源量を継続的に増加させていくものであり、借入人の経営方針に合致したものであるといえる。

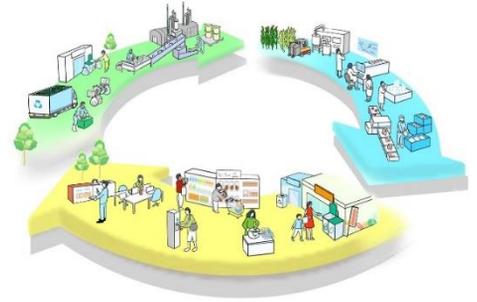


(会社パンフレットより抜粋)



(4) KPIの有意義性

我々人類は、地球規模の環境問題である地球温暖化等の気候変動に対する対策をはじめとして、生物多様性の保全、大気や海洋汚染の防止、プラスチックごみへの対処等の資源循環にも取り組まなければならない。環境省が策定した「令和4年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」の第3章「循環型社会の形成」においても、循環型社会に向けた廃棄物等の発生抑制、リサイクル等による循環的な利用・処分の必要性について述べられている。



(環境省 HPより資料抜粋)

しかし、産業廃棄物の排出量は約4億トン前後の横ばいで推移しており、大きな増減は見られていない。



廃棄物がもたらす環境問題は様々である。廃棄物を焼却する際に発生する温室効果ガスは、地球温暖化の要因であり、廃棄物焼却施設からは、温室効果ガスだけではなくダイオキシンも排出される。排出されたダイオキシンは、土壌や水を汚染し、人体にも蓄積されるリスクが懸念されている。

また、廃棄物の処理場が将来的には不足することも大きな問題である。環境省の調べでは、2020年度時点で、一般廃棄物最終処分場は、残余年数が全国平均22.4年、産業廃棄物の残余年数は2019年度時点で16.8年と報告されている。

現在でも、産業廃棄物処理に費用がかかるため、不法投棄を行う悪質業者の増加が社会問題となっているが、最終処分場が不足すれば、不法投棄をより加速させる要因となる。不法投棄は、土壌・水質・大気汚染、土砂崩れ等の人為的災害を引き起こすリスクも懸念されている。

このような問題を解決していくためにも、廃棄物の再生利用に積極的に取り組み、埋め立て地に送る廃棄物を可能な限り抑制していくことが重要であり、持続可能な生産消費形態を達成するためには、なくてはならない取組である。

本KPIは、廃棄物の再生利用拡大につながるものであり、国内外の情勢にも合致する有意義な取組であるといえる。

3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の測定

本ローンのSPT設定については、以下の(1)から(3)の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

(1) SPTの概要

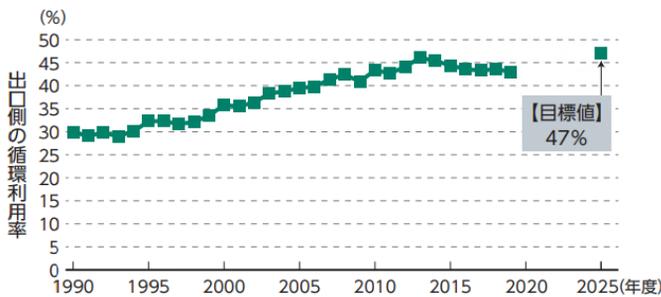
借入人はKPIとなる「燃え殻・ばいじんのリサイクル量」について、下表のとおり継続的に増加させるSPTを設定した。(2022年度の燃え殻・ばいじんのリサイクル量：867,620kg)

【借入人のSPT】

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
燃え殻・ばいじんのリサイクル量	前年度比 +20%						

(2) SPTの野心性

環境省が「第四次循環基本計画」において掲げた循環利用率（循環利用量／廃棄物等発生量）の2025年目標値は47%である。2000年度と比べ、2019年度の循環利用率は約7ポイント上昇し、約43.0%であった。借入人が設定したSPTは、廃棄物の一種である燃え殻およびばいじんの再利用率を毎年20%継続的に増加させていくことであり、十分に野心的な目標設定であると言える。



(「出口側の循環利用率の推移」
環境省 HPより資料抜粋)

※：推計方法の見直しを行ったため、2016年度以降の数値は2015年度以前の推計方法と異なる。

資料：環境省

(3) SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

4. ローンの特徴

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人へ取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1) が遵守されている場合、(2) が未達でも、スプレッドは変わらない。(1) が遵守され(2) が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

5. レポートニング

評価対象の「レポートニング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

(1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人へ提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

(2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを、貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

6. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. KPIの選定」、「3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の設定」、「4. ローンの特徴」、「5. レポートニング」に関して、自らの対応について客観的な評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。

ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。